

情報通信審議会 情報通信技術分科会  
新世代モバイル通信システム委員会（第 30 回）

－ 議事概要 －

1 日時

令和 6 年 6 月 20 日（木）14:00～14:30

2 場所

Web 会議

3 出席者（敬称略）

（1）委員等

森川 博之、三瓶 政一、高田 潤一、大岸 裕子、上村 治、河東 晴子、児玉 俊介、辻ゆかり、町田 奈穂、宮田 純子、三好 みどり、山本 祐司、渡辺 望

（2）オブザーバ

福本 暁（株式会社 NTT ドコモ）

（3）総務省

小川 裕之（移動通信課長）、  
入江 晃史（移動通信課企画官）、赤川 達也（移動通信課課長補佐）、  
平野 裕基（移動通信課課長補佐）、高木 世紀（移動通信課 計画係長）

4 議題

（1）委員会報告（案）「ローカル 5 G の海上利用に係る技術的条件等」に対する意見募集の結果について

事務局から、資料 30-1（委員会報告（案）概要「ローカル 5 G の海上利用に係る技術的条件等」に帯する意見募集の結果と意見に対する考え方（案））に基づき説明がなされ、質疑応答がなされた。

大岸専門委員：人体やセキュリティなど意見が出されている中で、丁寧にご対応頂き感謝。また、海上利用は重要なインフラとなり得るが、一般の人たちには伝わりにくい。一般の人に裨益していることを示してほしい。

河東専門委員：「全般に関する御意見」と「その他のご意見」はどのように分けたのか。

事務局：基本的には報告案自体に反対等のご意見を表明されているものは

「全般に関する御意見」、報告案に対しての賛否が不明であって、5Gの人体への影響等に対して言及をされているものに関して「其他のご意見」にまとめている。

特段の修正意見はなかったため、案のとおり委員会の考え方（資料 30-1）及び委員会報告（資料 30-2 及び資料 30-3）を取りまとめ、委員会報告については情報通信技術分科会に答申案件として諮ることとなった。

## （２）第５世代移動通信システム（５Ｇ）の高度化に関する技術的検討について

事務局から、資料 30-4（第５世代移動通信システム（５Ｇ）の高度化に関する技術的検討）に基づき説明がなされ、質疑応答がなされた。

児玉専門委員：eRedCap は RedCap と比べさらに機能を制限したものと示されているが、今回の検討では RedCap と eRedCap 両方の技術的条件を定めるという理解でよいのか。eRedCap の中に RedCap が含まれている形で Rel. 18 が出ているのか。

事務局：RedCap と eRedCap は、それぞれ別の仕様がある。具体的には、eRedCap の方がより狭い周波数帯域幅まで定義しているなどの違いがある。技術的条件をどのように定めるかは、作業班で議論を深める。

児玉専門委員：eRedCap の「e」は「enhanced」とのことなので、「さらに機能を制限した」という日本語に違和感がある。eRedCap は機能が制限されているが何かが enhanced されているという理解か。

事務局：帯域幅を制限することで、より IoT 向きの機能を強化したというような趣旨だと認識しているが、3GPP で用語についてどのような議論があったかは、細かくは承知していない。表現についても、作業班で議論を行いたい。

## （３）その他

事務局から、次回会合については改めて連絡する旨報告があった。

以上